

# 2022(令和 4)年度入学試験問題

## 国 語

(注意) 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

盈進高等学校

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今でも宮大工は塔を建てる。彼らは山に入って立木から選ぶか、原木市場へ行き自分の目で確かめて原木を買い付ける。

還暦を過ぎたある宮大工が「①大変な時代が来た」と言っただけで教えてくれた。原木市場に木材を買い付けに行ったら、建築用材となるはずの丸太が、トラックごとバイオマスプラントへ直行するのを見たそうだ。政策を決めた側は、「用材になるはずの丸太が、バイオマスプラントに運ばれるなんてことはあり得ない」と言う。しかし紙の上のルールで現実をaシバることはできない。用材となるべき丸太がバイオマスプラントへ運ばれていく。各地の現場は、それを目の当たりにしている。

バイオマスとは生物体 (bio) の量 (mass) を意味し、一般的には利用する生物資源そのもの、または材料や燃料として利用することを意味する。木材など生物資源を燃料にしてエネルギーを作るのがバイオマスプラントである。bホソクすると、一般的にはエネルギーを作るのに使うバイオマスには、建設現場で出る廃材、生ゴミ、家畜排泄物などもある。ただし、以下、本書ではバイオマスは木由来の有機物として話を進める。

なぜ丸太のバイオマスプラント直行が業界で問題視されるのか。木は魚のように身からアラまで、無駄なく使うことで資源全体の価値を上げる。こういう利用方法をカスケード利用と呼ぶ。簡単に言えば、木を適材適所に使い分け、資源を無駄なくすべて使っていくことだ。木の良い所から建築や家具の材料に使い、見た目の悪い木は、建築でも人の目につかない所に使ったりする。そして少々曲がっていたりして、必要な長さが取れないものは、集成材やCLT<sup>※</sup>、合板を構成する材料等にする。最後に、もう形を取ることができない残りを、紙の原料やエネルギー源に使う。燃料にして燃やす木も、カスケード利用の中に位置付けられていることが大前提である。

A、B、C、D材というD材には、林地残材りんちざんざいも含まれる。根元の部分（通称タンコロ）や梢こずえ、曲がった部分、伐り倒した後、山中に置きっぱなしにしていた木（これを伐り捨て間伐という）などがこれにあたる。これらをバイオマスに回すなら意味がある。②木1本の、そして山林全体の価値を上げてくれる、このような使い方ならば、有意義である。

しかしD材より上質の木材を燃やし始め、これまでB材、C材を使っていた業種と取り合いになっている地域がある。それどころか実態としては、A材まで手が伸びている。すでに2015年には「丸太争奪戦、バイオマス発電急増で、紙・住宅向けを『浸食』」（日本経済新聞2015年8月8日

夕刊」という記事が出ている。この時点で、製紙会社や製材所との原料争奪が激しくなっていることが分かっており、用材まで消費し始めることは、予想がついていた事態である。

木の単価は、家具や建築用材が一番高く、**c**シダイに下がっていく。粉々にする木が一番安い。**③**刺身でも十分に美味しい魚を、濃い味付けが必要なアラ同等の安い値段で叩き売っていることになる、せっかくの建築用材を粉々にする燃料として叩き売れば、一時的に現金は稼げるかもしれない、建築用材の需要がないからという人もいる。しかし、それでは今を凌げたとしても、山林も山村も疲弊に向かい、将来への持続性は得られない。

用材となる木は、植えるにも、育てるにも、伐り出すにも技能がいる。きちんと用材として売れば、育てた技術や山林にも正当な対価が払われる。山の麓に住む人々の仕事と家族の生活が守られる。それで次の世代の木を山に植えることができる。このサイクルが回れば、林業や製材所が将来へと発展していく。

しかしバイオマスに使う木は粉々にするのだから、質は問わず、取引価格は安い。バイオマス利用だけでは、再造林などあり得ない。どこの木を、どう伐り出そうと、コストが安いのが一番。このような価格帯の低い木ばかりの流通量が増えれば、木材価格全体が下がり始める。さらに立木を植えて育てて収穫する技能まで損なわれ、国土保全も**④**覚束なくなる。

バイオマスとは、生物由来の有機物であると述べた。**A**化石燃料（石炭、石油、天然ガス等）も、同じ生物由来の有機物である。両方とも有機物、**B**基本的に炭素と水素の化合物である。**C**後者は何億年もかけて、化石化したもの。双方の違いは、生きている資源を収穫したものか、既に死骸となった資源を**d**サイクツしたものか、である。

既に死んでいる「化石燃料」に対して、現世で生きているバイオマスは、立木を筆頭に、我々が生活する空間に、みずみずしく、バラバラに存在している。丸太や木の枝葉を想像してもらえば分かるように、水分が多く、燃やしたところでエネルギー密度も低い。その前段で、集めて、運び、乾燥させ、燃料にするまでに大変な労力もある。さらに日本の山林は急峻な山岳地帯にあり、一気に大量に集めることも難しい。化石燃料のように、ある所に堆積しており、まとまって取れる資源ではない。日本のバイオマスは、**⑤**型ではなく、**⑥**型のエネルギー源である。余程、条件が揃わない限り、**⑦**化は難しい。

国産の木材が主たるバイオオマスのエネルギー利用は、カスケード利用の中に位置付けられている必要があることはすでに述べた。さらに言えば、燃料化は山林の近くで行うことが望ましい。日本林業で一番コストをつり上げるのは、木を運ぶ作業である。木は動かす毎にお金がかかる。このため山村の製材所、またその近くも良い立地である。製材所ならば、製材した後の残り物、つまり燃料にすべき資源が敷地内に積み上がっている。

製材所に山と積まれて外気にさらされている、大鋸屑おがくずならまだしも、日本の杉そのものをいきなりエネルギーに利用することは、相当工夫しなければ難しい。それはかなり前から、政策を作った側にすら実感があつた。

何年も前、「バイオオマス」という言葉が、まだ世間を賑にぎわせていない頃に、山奥の宿舎で、ある省庁の元高官にバッタリ出くわしたことがある。出会う頭に「なぜ日本ではバイオオマス（のエネルギー利用）がうまくいかないのだろう」と質問されたことがあつた。「当たり前でしょう」と即答して以下のような理由を述べた。

⑧ 欧州大陸のコピーが、日本列島で通用するわけがない。自然環境も生活様式も、そして木自体が異なる。

木材の性質をはかる基準の一つが含水率である。分母にカリカリに乾燥させた状態（絶乾状態）の木の重さを取り、分子に乾燥前に含まれていた水分を取る。この含水率が、日本の杉では200%を超えることがある。

含水率は、立木のコアの部分（心材）と樹皮に近い部分（辺材）でも違う。杉の心材は50%〜200%、辺材は150%〜250%程度である。杉の中に大量に、しかも偏在する水分を飛ばすことが、いかに大変かは想像に難くない。初夏の日本の山林、それも谷ともなれば、若葉も木々も空気さへもみずみずしい。

一方、高温多湿の日本とは打って変わり、ヨーロッパは森の中もカラッとしていて、ドイツの森もフランスの森も湿度が低いようで、筆者が日本から持っていた湿度計で測るとエラー表示が出た。

ヨーロッパの森は、ひとたび火が付けば「炎の海」と化す。異常気象も手伝い、2018年、スウェーデンは観測史上、もつとも干上がった。全土で火の手が上がった。リトアニア、デンマーク、ポーランド、ドイツ、フランス、オーストリア、イタリア、そしてポルトガルまでも消火のeオウエンに駆けつけたという。日本でも森林火災ならぬ、「山火事」は発生している。しかし、野を焼き尽くすように燃えたりはしない。

2012年の春、筆者らは、立木を伐り倒すマニピュレータ（機械システム的一种）を山に運んで実験していた。なかなかうまくいかず、切削実験を繰り返していた。その時、木から煙ではなく、蒸気があがったことがある。木の中からはセメントミルク（セメントと水を混ぜたドロドロの物質）のようなものが出てきた。

この目の前にある杉を丸太ごと燃焼化（チップやペレットに）するにせよ、乾燥させて燃やし、タービンを回して電力だけ作ろうなんて発想には無理がある。

日本も昔、薪炭利用をしていた。要するに薪や炭を燃料にしていたのだ。しかし、かつての薪炭利用の多くは杉ではなく、広葉樹であった。

日本に今、増え続けているのは針葉樹、とくに杉である。現在の製材業においても、杉の乾燥に苦戦している。エネルギーを取るためには、水分たっぷりの杉を乾燥させなければならない。

葉枯らし乾燥と言って、木を切ってから山に寝かせて、木から水分を蒸発させる手法もある（ちなみに檜は色が変換することがあり、葉枯らし乾燥はしない）。

林業従事者は、いい材を作るために手間をかけ、長らく寝かせもする。しかし今日的なビジネスは、とにかく早く安く大量に回さなければならない。バイオマス発電では、そんな悠長なことはしてられない。

「杉でやっている所は、木を乾燥させることから苦戦しているようだ。しかもそのために必要なエネルギーも、バイオマスでとっている」

ある林業関係の技術者は、話す先から苦笑いしていた。日本の杉を乾かす難しさを知っているからである。その彼がプラントで使っているのは、杉ではなく、落葉松である。施設も落葉松の生えるところにある。松は含水率もそこそこ（落葉松は心材で40〜50%、辺材で120〜150%程度）で、昔から松明にも使われてきた。

本来、エネルギー利用には、木といえども、林地残材や製材などの後に出てきた残り滓を回すものだ。理想を言えば、火力を得るには広葉樹が良い。しかし欧州の製材所で、うずたかく積み上がった木くずを見る限り、この状態からならばそれほど樹種に拘ることもないだろうと思う。

ところが日本では、技術者が苦笑するように、水気をたっぷり蓄えた状態で、木がプラントに運ばれている。日本の資源の性質や分布状況から考えられたエネルギー利用ではなく、そもそも推定された総量で計画を立てている。

杉のエネルギー利用も、技術の進歩と機器の調整いかんでは、無理な話ではない。発生する熱も使い（発電の際に発生する温水も利用して）、全体の効率を確保するならまだ意味はある。しかし電力だけで効率を上げようとするれば、大型の施設が必要とされる。そこで必要になる大量の木の乾燥に大量のエネルギーを使い、さらに発電で発生する大量の熱を捨てることになる。これで環境に良いと言えるのか。

（白井裕子『森林で日本はよみがえる 林業のが瓦解を食い止めよ』による）

※ CLT…直交集成板。Cross Laminated Timber の略で、木質系材料の一つ。

問一 〳〳 a s e のカタカナを漢字に直しなさい。（楷書で大きくていねいに書きなさい）

問二 

A
---

・

B
---

・

C
---

に入る語句として適当なものを、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。（記号は一度しか使えません）

ア つまり イ しかし ウ なぜなら エ もちろん

問三 〳〳 ①「大変な時代が来た」とありますが、どのような時代のことですか。適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア バイオマス発電のために自ら原木を買い付けなければならない時代。

イ 政策を決めた省庁の思い通りにバイオマス発電が進んでいく時代。

ウ バイオマス発電の資源である木材がすべて失われてしまう時代。

エ 建築用材に使う丸太がバイオマス発電の燃料として奪われる時代。

問四

②「木1本の、そして山林全体の価値を上げてくれる」とありますが、それは木をどのように利用することで可能となりますか。解答用紙の「で可能になる。」につながるように、本文中から二十五字以上三十文字以内で抜き出し、はじめと終わりの三字をそれぞれ答えなさい。

問五

③「刺身でも十分に美味しい魚を、濃い味付けが必要なアラ同等の安い値段で叩き売っていることになる」とはどういうことですか。「魚」を「木」に置き換えて説明した次の文の

1

木を、

2

木と同等の安い値段で叩き売っていることになる」といふこと。

問六

④「覚束なくなる」とありますが、その語句の意味として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 記憶からなくなる
- イ 頼りなくなる
- ウ 容易になる
- エ 心配なくなる

問七

⑤

・

⑥

・

⑦

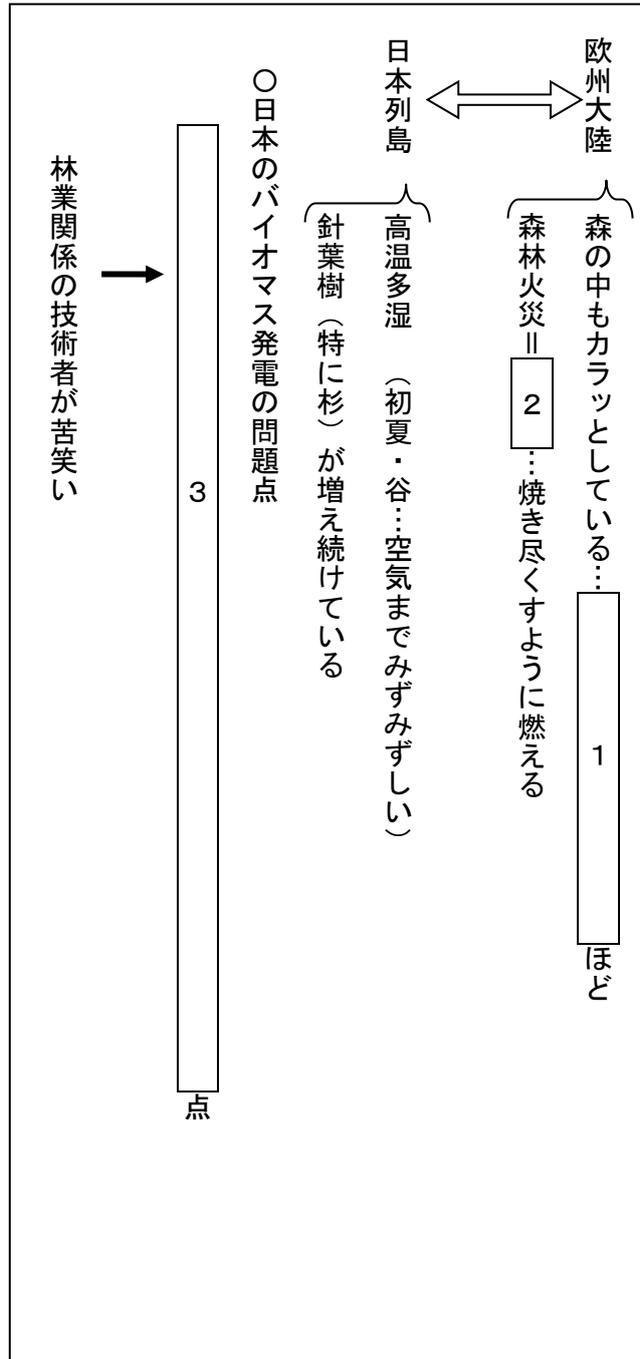
に入る語句の組み合わせとして適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ⑤…小規模分散 ⑥…小規模分散 ⑦…大規模集約
- イ ⑤…小規模分散 ⑥…大規模集約 ⑦…大規模集約
- ウ ⑤…大規模集約 ⑥…小規模分散 ⑦…大規模集約
- エ ⑤…大規模集約 ⑥…小規模分散 ⑦…小規模分散

問八 \_\_\_\_\_ ⑧ 「欧州大陸のコピーが、日本列島で通用するわけがない」とありますが、Aさんは「欧州大陸」と「日本列島」の比較をノートにま

とめました。ノート内の [1] [3] について、それぞれあとの問いに答えなさい。

Aさんのノート



1. [1] に入る語句として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 含水率が200%を超える

イ 日本の湿度計ではエラーが出る

ウ 切削実験がうまくいかない

エ 伐った木からセメントミルクが出る

2. 2には比喩表現が入ります。適当な語句を、本文から五字以内で抜き出さない。

3. 3には林業関係の技術者が苦笑いする「日本のバイオマス発電の問題点」をまとめたものが入ります。解答用紙の「点」につながるように、本文の語句を用いて、六十字以上八十字以内で答えなさい。

問九 この文章を読んで、三名の生徒たちがインターネットを利用して調べ学習をしました。次の会話文の1と5に入る語句を、あとの【資料1】と【資料4】を参考にして、それぞれ答えなさい。

Aさん 日本のバイオマス発電に課題があることは分かったけど、どうして政府はバイオマス発電を推進しているんだろう。

Bさん 経済産業省のホームページに「日本木質バイオマスエネルギー協会（JWBA）」による「木質バイオマスエネルギー利用の推進と燃料剤の効率的な供給システムの構築」という資料があったよ。

Cさん 【資料1】をみると、日本の森林資源は1ことがわかるね。でも、ヨーロッパ各国と比較すると、木材生産量が2ことが【資料2】でわかるよ。

Aさん 【資料3】は、地域に即した効率的な供給システムが構築されれば、より3エネルギーを生産できるという説明だね。

Bさん 【資料4】をみると、新型コロナウイルス感染症の影響から、4に関心を持つ人が増加しているよ。実際に移住が行われたときに必要な就業の場にもなりそうだ。

Cさん それに5にも貢献するから、「SDGs」につながる産業なんだね。だから、政府はバイオマス発電を推進しているんだね。

## 資源的には極めて大きい木材賦存量



我が国の森林資源については二つのデータがあるが、森林生態系多様性基礎調査では、蓄積が、木材供給量約3千万m<sup>3</sup>/年に対し、人工林で1億3千万m<sup>3</sup>/年、天然林では1億1千万m<sup>3</sup>/年増加している。

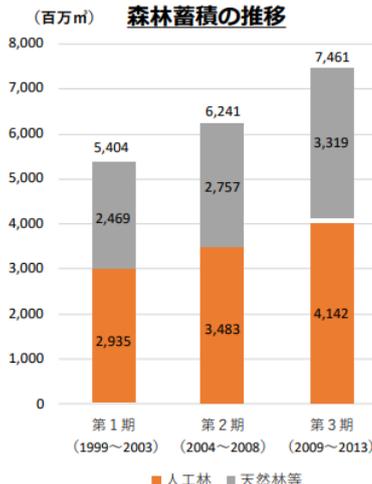
森林資源現況調査による森林蓄積の推移



出典：林野庁「森林資源現況調査」より

森林生態系多様性基礎調査による

森林蓄積の推移



出典：林野庁「森林生態系多様性基礎調査」より

JWBA Proprietary

6

## 森林資源に比較して少ない木材生産量



我が国の木材生産量は、森林資源の成長量の約1割にすぎず、他国と比較すると木材生産として十分に利用されていない。

各国の森林資源の現況と利用状況

	森林面積 (万ha)	森林率 (%)	森林蓄積 (億m <sup>3</sup> )	ha当たり蓄積 (m <sup>3</sup> /ha)	木材生産量 (万m <sup>3</sup> /年)	ha当たり木材生産量 (m <sup>3</sup> /ha)
オーストリア	387	46.9	12	300	1,755	4.5
ドイツ	1,142	32.8	37	300	5,561	4.9
スウェーデン	2,807	68.4	30	100	7,430	2.6
フィンランド	2,222	73.1	23	100	5,928	2.7
日本	2,508	68.5	49	200	2,714	1.1

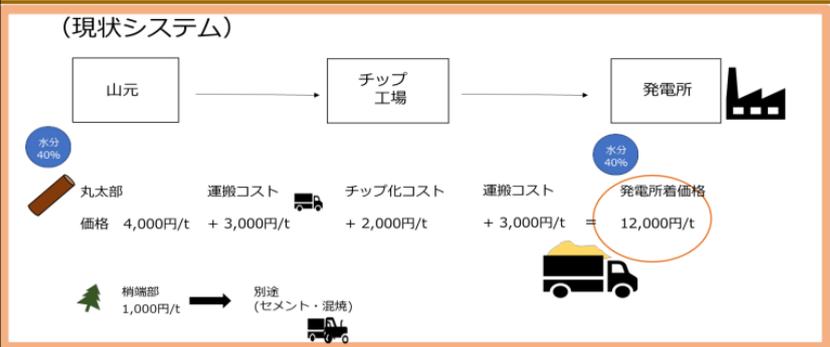
注 1：ha当たり蓄積、蓄積変化量を除く表中の数値はいずれも「森林・林業統計要覧2017」による2015年の数値。  
 2：森林率については、森林面積を総面積（内水面面積を除く）で除した数値。  
 3：ha当たり蓄積については、森林蓄積を森林面積で除した数値。  
 4：日本の木材生産量は「木材供給表」による2016年の数値。なお、日本以外の各国は丸太生産量の数値。  
 5：日本の蓄積変化量は「森林・林業基本計画」による2015年時点の総成長量の値。なお、日本以外の各国は「森林・林業統計要覧」による2010年と2015年の蓄積量の比較から算出。また、スウェーデンは森林蓄積が減少していることから「-」としている。

資料：林野庁「森林・林業統計要覧」、林野庁「平成28年木材供給表」（平成29(2017)年9月）、「森林・林業基本計画」（平成28(2016)年5月）

JWBA Proprietary

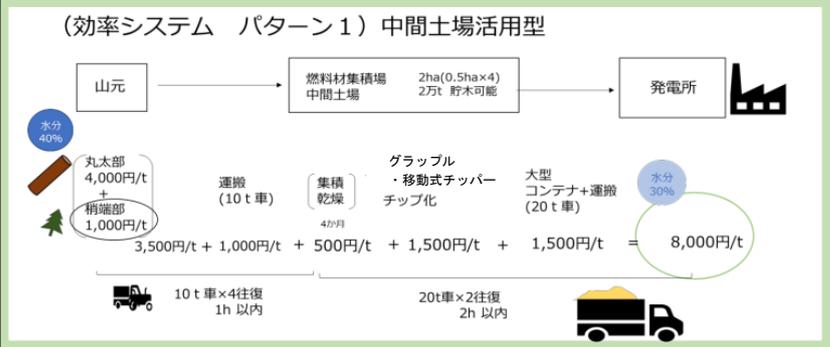
7

# 地域に即した効率的な供給システム（コスト試算）



最大100 km圏を想定し JWBA作成

- 燃料価格を構成するコスト要因
- ・山元における丸太価格
  - ・チップ化コスト
  - ・乾燥コスト
  - ・流通コスト



JWBA Proprietary

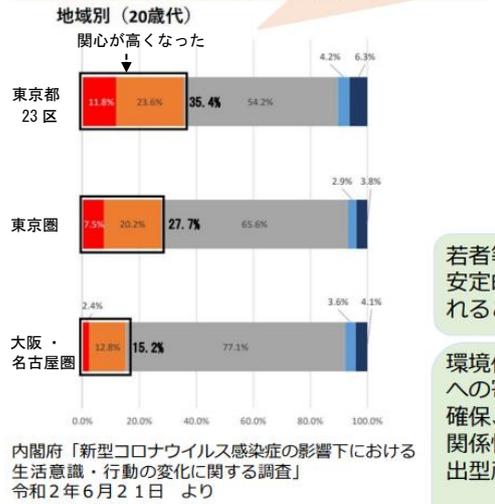
# 新しい生活様式において地方が再評価



最近、地方に移住しようとする若者等が増加している。

質問：今回の感染症の影響下において、地方移住への関心に変化はありましたか。（三大都市圏居住者に質問）

三大都市圏とは、東京都、名古屋圏、大阪圏の1都2府7県。・東京都：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県  
・名古屋圏：愛知県、三重県、岐阜県  
・大阪圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県



ふるさと回帰支援センター（東京）への来訪者・問い合わせ数



- 若者等が定住するためには、安定的な就業の場が確保されることが必須。 → 木質バイオマスエネルギー利用は、安定的で継続的な就業の場を生み出す
- 環境保全等持続可能な社会への寄与、自主的な活動の確保、人と人とのソフトな関係性の構築等生きがい創出型産業社会の創造が必要 → 木質バイオマスエネルギー利用は、地球温暖化防止に貢献するとともに、地域資源である森林を総合的に活用し、社会的な関連性を重要視する新たな生活価値を作り出す。

JWBA Proprietary

□ 次の文章は、青山美智子「のびゆくわれら[Pink/Tokyo]」の一節である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

萌香<sup>もえか</sup>ちゃんが退園すると園長から聞かされたのは、10月もa半ば<sup>はんば</sup>に差ししかかったころだ。

お父さんの急な転勤で、来週には引越すという。

「えな先生」

お迎えのとき、萌香ちゃんのお母さんから呼び止められた。普段口数が少なくて控えめな彼女から、声をかけられたのは初めてだった。

「萌香がお世話になりました」

「……萌香ちゃん、お引越ししちゃうんですね」

「ええ」

ほんの少し間があつて、何か言わなくてはと思ったところでお母さんが口を開いた。

「えな先生。萌香ね、①爪<sup>か</sup>噛み<sup>か</sup>が治<sup>な</sup>つたんですよ」

お母さんが②静<sup>しず</sup>かな笑<sup>わら</sup>みをたたえて言う。

「あの子、前は指の爪<sup>つめ</sup>ぜんぶ噛<sup>か</sup>んでしまつて、ひどいときは血が出るくらいで……。悩みました。育児書<sup>いくじしょ</sup>を読むと、やめなさいと叱<sup>しか</sup>つてはいけなやか、愛情不足<sup>あいじょうふそく</sup>が原因<sup>げんいん</sup>だとかつて書いてあるし。こんなに大事<sup>だいじ</sup>に想<sup>おも</sup>つてるつもりなのにどうしてつて、A自分が責<sup>せ</sup>められているようにも思<sup>おも</sup>いました」

「……………」

「一か月ぐらい前、えな先生の爪<sup>つめ</sup>はきれいなピンクなんだよつて、うれしそうに話<sup>わ</sup>してました。萌香<sup>もえか</sup>もあんなきれいな手<sup>て</sup>になりたいつて。だから爪<sup>つめ</sup>はもう噛<sup>か</sup>まないつて、自分<sup>自分</sup>から。ギザギザで伸び<sup>のび</sup>る間<sup>かん</sup>もなかつた爪<sup>つめ</sup>が、今<sup>いま</sup>ではちゃんと揃<sup>そろ</sup>つてます」

萌香<sup>もえか</sup>ちゃんのお母<sup>お母</sup>さんは声を震<sup>ふる</sup>わせる。私も胸<sup>むね</sup>がいっぱいになつて、涙<sup>なみだ</sup>がこぼれそうだった。ああ、よかつた。私の願<sup>ねが</sup>いは通<sup>と</sup>じていた。私がマコ<sup>マコ</sup>ちゃんに憧<sup>あこが</sup>れたように、萌香<sup>もえか</sup>ちゃんが私のピン<sup>ピン</sup>クのネイル<sup>ネイル</sup>を素敵<sup>すてき</sup>だと感<sup>かん</sup>じてくれたなら、爪<sup>つめ</sup>噛<sup>か</sup>みしなくなるかもしれないと思<sup>おも</sup>つたのだ。

「ありがとうございます」

深々<sup>しんしん</sup>とお辞儀<sup>じぎ</sup>をするお母<sup>お母</sup>さんに、私はしどろもどろになつて言<sup>い</sup>つた。

「でも、私、すぐにネイル取っちゃったから、萌香ちゃんガツカリしたんじゃないかと思えます」

お母さんは身体を起こす。

「いいえ。萌香がきれいだと言ったのは、ネイルを取ったあとの爪のことです」

「え？」

「やすこ泰子先生から、聞いてませんか？」

聞いていない、何も。泰子先生の名前が出てくること自体、予想外だった。

「最初はネイルをかわいいと思ったみたいで、それがきつかけだったのはたしかです。でも、えな先生がネイルを取ったあと、泰子先生がみんなに言ったんですって。えな先生の手は、働きの手だよねって。たくさん笑って、たくさん食べて、なんでも楽しくがんばっていると、えな先生みたいにきれいな爪になるよ。大人になってから、爪に色を塗ってオシャレしたいなと思ったとき、元気な爪だったら素敵だよって」

……泰子先生が、そんなこと？

びっくりして、何も言えなかった。萌香ちゃんのお母さんは、自分の手をじっと見る。

「爪って健康のバロメーターですもんね。私、しばらく自分の爪なんか見てなかった。夫は仕事が忙しくてほとんど家にいなくて、ひとりで育児を背負ってる気がして……キリキリしてたなあって気づきました。転勤先では、もつと家族一緒にいられると思うんです。私も萌香ときれいなピンクの爪になれるように、元気で、笑顔でいたいと思います」

お母さんが笑ったときの目は、萌香ちゃんとよく似ている。

おかあさーん、と萌香ちゃんの明るい声がして、こちらに向かって走ってくるのが見えた。

「さびしいわねえ、お別れなんて」

振り返るといつのまにか泰子先生がいて、私は「ひっ！」と飛び上がった。b道端で突然へビに出くわしたみたいな私に、泰子先生がBをひそめる。

「そんなに驚かなくても。挨拶しようと思ってさつきからそばにいたけど、出て行ける雰囲気じゃなかったから」

泰子先生は、なんだかXきまり悪そうにそっぽを向き、門に向かって歩き出した萌香ちゃん親子に目をやった。

私は「あの……」と切り出したが、かぶせるように泰子先生は言う。

「べつに、あなたのことかばったわけじゃないから。まあ、でも……」

泰子先生はやっと、私の顔を見た。

「がんばってるっていうのは、本当でしょ」

泰子先生がいつになく穏やかな口調で言うので、私は面食らってしまった。もしかしたら、私のことを意外とわかってくれているのかもしれない。そう思ったら、なんだかジンときた。そんな私をちらりと見ると、泰子先生は強い口調で言った。

「だいたいねえ、ちゃんと説明してくれば私だつて頭ごなしに注意したりしなかったのよ。ふてくされた顔で黙ってないで、ちゃんと話してくれたらよかったのに」

いつものようにきつく言われているのに、③威圧的には感じなかった。泰子先生自身じゃなくて、私の受け止め方が変わったからだと気づく。

「どう説明すればいいのか、よくわからなかったんです。瑠々ちゃんのお母さんが怒るのも無理ないって思うし」

私が答えると、泰子先生はふと真剣な表情を浮かべた。

「わからなくても、話してほしい。私も経験があるの。あなたぐらいのころ、色付きのリップクリームを塗っててね。口紅ってほどじゃなかったんだけど、子どもを抱っこした拍子に、シャツについてしまって。男の子だったの。その子のお母さんからいかがわしいって非難されたわ」

「そんな……」

「ううん、私が悪い。だからなるべく体に色をつけないようにしてきたの。一方で、ちよつとはお化粧するのが大人の身だしなみだつて言うお母さんもいる。いろんな考え方があってね。あなたのネイルにしたつて、萌香ちゃんのお爪噛み治しにひと役買ったのは間違いないと思う。でも、必ずしもいい方向に行くとは限らないし、すべての保護者さんが受け入れてくれるかはわからない。かんじんの子どもたちにとって何がいいかは、私たちがそのつど肌で感じるしかないのよ」

私はうなずいた。不思議なくらい心が落ち着いていた。

④ひとつひとつがライブなんだ。試行錯誤で、体当たりで、合っているかどうかわからない正解を探し続ける。毎日毎日、音を立てるように大きくなっていく子どもたち。ひとりひとりと向き合いながら、きつと私も、伸びていく。

「難しいですね。すごく大変だけど……でも、やりがいてこういうことを言うんだなって、わかった気がします」



問一 a e の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 A に入る語句を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア まるで                    イ ふと                    ウ きつと                    エ まさか

問三 B には体の一部を表す語句が入ります。適当な語句を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 首                    イ 肩                    ウ 唇 くちびる                    エ 眉 まゆ

問四 C に共通して入る語句を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 喜んで                    イ いきがって                    ウ 浮きたって                    エ 嫌がって

問五 X 「きまり悪そうに」、Y 「おどけた」の意味として適当なものを、それぞれ次から選び、記号で答えなさい。

X 「きまり悪そうに」

- ア いたたまれない様子で                    イ 怒りをおさえながら                    ウ 不機嫌をあらわにして                    エ 落ち着きなくおどおどして

Y 「おどけた」

- ア 気休めを言った                    イ びっくりさせた                    ウ 軽口をたたいた                    エ すごみをきかせた

問六 ① 「爪噛みが治った」とありますが、そこに至る出来事ア～エを、起こった順に並べなおしなさい。

□↓□↓□↓□↓□↓□↓萌香ちゃんは爪を大事にするようになる。

- ア 泰子先生がえな先生のネイルを厳しく注意する。
- イ 泰子先生が子どもたちに向かってえな先生の手をほめる。
- ウ 瑠々ちゃんのお母さんから園に苦情が寄せられる。
- エ えな先生がピンクのネイルをつけて勤務する。
- オ えな先生がピンクのネイルを取って勤務する。

#### 問七

- ② 「静かな笑みをたたえて」とありますが、この心情を説明したものと**適当でないもの**を、次から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 長く心を痛めていた娘の爪噛み問題がやっと解決し、ほっと安心している。
- イ 幼稚園の先生が娘に心を尽くして向き合ってくれたことに感謝している。
- ウ 引越しによる突然の別れを悲しむ幼稚園の先生を慰めようとしている。
- エ 力を添えてくれた先生に娘の爪噛みが治ったことを報告できて喜んでいる。

#### 問八

- ③ 「威圧的には感じなかった」とありますが、それはなぜですか。本文中の語句を用いて四十字以上五十字以内で答えなさい。

#### 問九

- ④ 「ひとつひとつがライブなんだ」とありますが、ここでの「ライブ」とはどのようなことですか。その内容として**適当でないもの**を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア うまくいくかどうか試行錯誤しつつ、肌で感じ確かめる瞬間。
- イ 大変なことにも体当たりでぶつかり、正解を探し続ける過程。
- ウ 子どもの成長に向き合う中で、自分の変化も実感できる日々。
- エ 保護者や先輩教師の非難に負けず、自分の考えを貫く強い心。

問十 この小説に関する説明として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 育児に悩む母親とその娘のギザギザの爪、仕事にやりがいを見出した主人公と健康なピンク色の爪など、爪は登場人物の心身状態や人間関係を象徴するものとして用いられている。

イ 派手なネイルや色付きのリップクリームなど、鮮明な色彩を幼稚園という不似合いな場に印象的に配置することで、平穏をかき乱す刺激はありふれた日常に常にひそんでいることが描かれている。

ウ 短くコミカルな会話を基調に物語をテンポよく進めることで、幼稚園の明るい空間を印象付ける一方、登場人物の不安や悩みといった負の心情を描いて、人の心の根底にひそむ絶望感を暗示している。

エ 愛情を注いで育てていても幼い娘が爪を噛む母親、一生懸命働いていても職場で厳しく叱られる若手教師など、理想と現実が一致しない現代人の生きづらさが切々と描かれている。

㊦ 次の古文を読んで、あとの問いに答えなさい。



この世に、いかでかかゝることありけむと、めでたくおぼゆることは、文こそはべれな。 **A**』に返す返す①まうしてはべるめれば、こと新

しくまうすに及ばねど、②なほいとめでたきものなり。遥かなる世界にかき離れて、幾年あひ見ぬ人なれど、文といふものだに見つれば、ただ今さし

向かひたる心地して、③なかなか、うち向かひては思ふほども続けやらぬ心の色もあらはし、言はまほしきことをもこまごまと書き尽くしたるを見る

心地は、めづらしく、うれしく、④あひ向かひたるに劣りてやはある。

⑤つれづれなる折、昔の人の文見出でたるは、ただその折の心地して、いみじくうれしく **B** おぼゆれ。まして亡き人などの書きたるものなど見

るは、いみじく⑥あはれに、年月の多く積もりたるも、⑦ただ今筆うち濡らして書きたるやうなる **B**、返す返すめでたけれ。

(『無名草子』による)

※めでたく…すばらしく

※はべれ…です

※だに…さえ

※言はまほしき…言いたい

問一

A には、平安時代に書かれた随筆の作品名が入ります。その作品名を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 徒然草      イ 枕草子      ウ 源氏物語      エ 土佐日記

問二

①「まうし」、②「なほ」の読みを現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問三

③「なかなか」、⑤「つれづれなる」、⑥「あはれに」の現代語訳として適当なものを、次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ③「なかなか」      ア かえって      イ そのまま      ウ やはり      エ すっかり  
⑤「つれづれなる」      ア 優美な      イ いいかげんな      ウ まじめな      エ 退屈な  
⑥「あはれに」      ア しみじみとして      イ かわいそうで      ウ 役に立たず      エ 上品で美しく

問四

④「あひ向かひたるに劣りてやはある」とありますが、その解釈として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 思いを伝える手段は多数あるが、やはり、直接会って対話するのが一番だ。  
イ こまごまと書いたものは、見返した時、後悔のもとになるので具合が悪い。  
ウ 向かい合って、思うことや言いたいことを共有できることに感動する。  
エ 思いを書き尽くしたものは、面と向かっての会話に引けを取らない。

問五 Bに共通して入る語句として適当なものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ぞ      イ こそ      ウ か      エ なむ      オ や

問六 \_\_\_\_\_ ⑦「ただ今筆うち濡らして書きたる」とありますが、どのような様子を表しているのですか。適当なものを、次から一つ選び、記号で

答えなさい。

ア 筆が涙で濡れてしまうほど泣きながら書いたことが伝わってくる様子。

イ 読んでいると感動して涙があふれ、書いてある文字が濡れてにじむ様子。

ウ ついさつき墨で書いたように、当時の姿がありありと思い浮かぶ様子。

エ 書いているまさにその時の大雨の被害を伝えるため、必死で筆をとった様子。

問七 冒頭の「」にこの文章の小見出しとなる言葉を入れなさい。ただし、現代語で、字数は五字以上十字以内とします。